

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員

年会費 継続：2,500円
新規：3,000円

- 特典① 会員限定 HP の閲覧
・24 大学の履修申込、動画インタビューなど
- 特典② 会報誌のお届け
・各大学特稿の掲載など
- 特典③ プログラムの割引



シーズンパス会員

年会費 5,000円

- 特典① (一財) 関東大学サッカー連盟主催の大会が無料で観戦可能
・関東大学サッカーリーグ戦、アミノバイタル杯・インディペンデンスリーグ(関東)
- 特典② プログラムの割引



同時入会だとならにお得!!

年会費 継続：7,000円
新規：7,500円

- ※新規会員の方はICカード発行料 500円を含みます。
- ※新規会員の方はICカード発行料 500円を含みます。
- サポーターズクラブ会員とシーズンパス会員を同時に入会して頂きますと…



年会費が 500円お得!

入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式 HP 内右上にある

サポーターズクラブ欄 (<http://www.jufa-kanto.jp/regist.php>) をご覧ください。



試合情報や選手のインタビュー、HPの更新情報を Tweet します。皆様のフォローお待ちしております!



関東大学サッカーサポーターズクラブ

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFAハウス7階 (一財) 関東大学サッカー連盟内

Tel: 03-3830-1850/Fax: 03-3830-1851/Mail: kuss@jufa.jp 緊急の連絡でない限り、メールでお問い合わせください。

ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップをゲートにて 500円(税込)で販売しております!

大学サッカー公式応援グッズ♥

ゲートではその他、本大会公式プログラム昨年度の全日本大学選手権プログラムなど販売しています♪

ぜひゲートにてお買い求めください!

集中応援情報

【第7節】
*桐蔭横浜大学
5月6日(水・休) 11:30 Kick Off
vs 明治大学
味の素スタジアム西競技場

【第8節】
*早稲田大学、慶應義塾大学
5月9日(土) 11:30 Kick Off
早稲田大学 vs 慶應義塾大学
味の素フィールド西が丘

*順天堂大学
5月9日(土) 13:50 Kick Off
vs 専修大学
フクダ電子アリーナ

伝統の早慶戦!



JR 東日本カップ 2015 第 89 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM VOL.23-NO.06 Division 1



発行：(一財) 関東大学サッカー連盟 協力：加茂 郁実・関東大学サッカーサポーターズクラブ

並ぶ勝ち点! 首位と再下位の差はわずか6

ついに折り返し地点を迎えた、JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦の前期中盤戦。

25 日に行われた駒大対神大の一戦は、終盤に試合が動いた。駒大が先制点を決め、そのまま終了かと思われた 89 分に神大が同点に追いつく。勢い付いた神大は 90+3 分に逆転弾を決め念願の初勝利を挙げた。明大対中大戦は、手に汗握る見応えのある点の取り合いが繰り返される展開の中、中大が逃げ切り明大は初の黒星となった。専大対慶大の試合は慶大が先制するも、後半に入り専大が魅せた。山川(4 年) が同点弾を挙げると、野田(3 年) のスーパーミドルで逆転。さらに追加点をあげた専大が遠かった 1 勝を手にした。早大対流経大戦では、60 分に流経大・渡邊(2 年) が 2 戦連続のゴールを決めると、そのまま逃げ切っけ負けなしの流経大が勝ち点を積み上げた。

得点ランキング		アシストランキング	
矢島 輝一(中大)	6 点	荒木 翔(国士大)	4アシスト
藤本 佳希(明大)	4 点	平野 篤志(明大)	3アシスト
和泉 竜司(明大)	3 点	新里 涼(順大)	3アシスト
以下 2 点 14 名		以下 4アシスト 5 名	

26 日の試合では、国士大が 6 得点を挙げ桐蔭大に大勝。3 連勝と弾みをつけて連戦に臨む。順大対法大戦では、順大が先制するも 84 分に法大が同点弾を決め、さらに 90 分に追加点が決まって劇的な勝利を収めた。

今節からゴールデンウィーク 3 連戦に突入。タップな試合を勝ちきるのはどのチームか。

JR 東日本カップ 2015 第 89 回 関東大学サッカーリーグ戦 1 部 順位表

[1 部 第 5 節終了時]

チーム名	明大	国士	流経	慶大	中大	順大	神大	駒大	法大	専大	早大	桐蔭	勝点	試合数	勝数	敗数	同点	総得点	総失点	得失点差	順位
明治大学			1△1		2●3	3●2	2●1		3●2				10	5	3	1	1	11	9	2	1
国士大学			0●1					2●1	2●1		0●1	6●1	9	5	3	0	2	10	5	5	2
流通経済大学	1△1	1●0		1△1						1△1	1●0		9	5	2	3	0	5	3	2	3
慶應義塾大学			1△1			1△1	2●1	3●0	1●3				8	5	2	2	1	8	6	2	4
中央大学	3●2					1●2	1△1	1●2			4●1		7	5	2	1	2	10	8	2	5
順天堂大学	2●3		1△1	2●1				1●2			1●0		7	5	2	1	2	7	7	0	6
神奈川大学	1●2			1△1			2●1			0△0	1△1		6	5	1	3	1	5	5	0	7
駒澤大学		1●2		1●2	2●1		1●2					2●1	6	5	2	0	3	7	8	-1	8
法政大学	2●3	1●2		0●3		2●1				1●0			6	5	2	0	3	6	9	-3	9
専修大学			1△1	3●1			0△0		0●1			0●1	5	5	1	2	2	4	4	0	10
早稲田大学	1●0	0●1		1●4		1△1						1△1	5	5	1	2	2	4	7	-3	11
桐蔭横浜大学		1●6				0●1	1●2			1●0	1△1		4	5	1	1	3	4	10	-6	12

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業

Zeal Athlete Agency



体育会系学生のための
リクナビ就職エージェント

成功も失敗も、自分が決める。

部活と就活にエールを送る! 体育会系学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

桐蔭横浜大学 VS 神奈川大学

5月3日(日)
11:30
保土ヶ谷

前節の国士大戦で6失点を喫してしまった桐蔭大。後半10分に退場者を出し、数的不利になってしまったとはいえ、修正できずに失点を重ねた点は多くの反省が残る。特に、国士大の前線からの早いプレスを前に思うようにボールを回すことができず、自分たちのサッカーを構築することができなかった。最下位に転落したが、自信を失わずにプレーを続けたい。

5節目にして初勝利を挙げた神大。前節の駒大戦は後半32分に先制点を奪われる苦しい展開だったが、44分にCKから同点弾を決めると、アドレシショナルタイムに逆転と劇的な勝利を飾った。これで一気に波に乗りたいたいところ。2点目をしっかりと取れば、勝利に結びつけられることを証明しただけに、今後も2点目を取れるかどうかのポイントだ。

3回警告：なし
出場停止：佐々木俊輝(桐蔭大)
昨年度対戦：なし

中島優(桐蔭大・DF・2年)

前半は1-0で折り返していいペースだったが、後半になって1人退場した中で、話し合うこともしないで改善できなかったのが原因だ。次の神大戦に勝たないと上位に行けなくなるので、次の試合は死ぬ気で勝ちに行きたい。



坂田亮(神大・FW・4年)

周りのみんなが頑張ってくれて、DFもしっかり守ってくれて、監督に「決めてい」と言われたので、そこで力を頭に入れてやった。決めることができずに苦しんでいた。勝った次の試合が一番の分岐点になると思うので、勝ち切ったこれからは繋がるように、しっかり準備をしたい。

順天堂大学 VS 国士館大学

5月3日(日)
13:50
味フイ野

優勝候補に挙げられていた順大だが前節で法大に1-2と敗れて6位に後退。やがて厳しい状況に。2試合続けて、終盤に失速するゲーム展開となっているのが気がかり。ここからさらに悪い中で試合となるだけに、90分通していかに行き続けられるかがポイントだし、その前に2点目を決めて、試合を決定づける必要もあるだろう。

2連敗スタートを切った国士大だが、前節、桐蔭大を6-1で破り3連勝。順位も2位まで上げ、調子が上がってきた。桐蔭大は前半に先制点を奪われたが、その後、後半に同点に追いつくと相手チームに退場者が出たこともあって、一気に攻勢を仕掛け、終わってみれば大量6ゴールを奪った。ただ、大量得点した試合の次の攻撃が一番大事。しっかりと攻撃の形を作りたい。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：順大2-1国士大/順大0-0国士大

松島英真(順大・DF・2年)

個人では点が取れて良かったが、チームが負けたので反省だ。ゴールデンウィークは運命なので、しっかり勝ち点を取って首位に立ちたい。



松本孝平(国士大・FW・3年)

相手に先制されたが、積み重なって勝てたことが一番大きい。次は順天堂大学との対戦なので、相手は格上と考えて自分たちが出来ることを一杯やり、4連勝という形につなげたい。

専修大学 VS 早稲田大学

5月3日(日)
13:50
保土ヶ谷

4試合を終えた時点で未勝利、最下位と苦しんでいた専大。開幕戦こそ1点を奪ったが、その後は3試合連続でノーゴールと攻撃面がかみ合っていなかった。前節の慶大戦も前半は思うような戦いができずに先制点を奪われた。しかし、後半にメンバーやシステムを変更すると、選手が躍動し、勢いを取り戻して3得点。逆転で今シーズン初勝利を飾った。とはいえ、これですべてが解消されたわけではない。本場の正念場はこれからだ。

優勝を狙う早大だったが、5節終了時点で11位。まだ序盤戦とはいえ残留争いに巻き込まれてしまった。前節の流経大は、一進一退の攻防だったが、後半15分に失点し、結局これが決勝点となり0-1の敗戦。チャンス自体も多く作れなかっただけに、攻撃面を見直したい。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：専大3-0早大/専大3-2早大

野田卓宏(専大・MF・3年)

前半は思うような形が作れなかったのですが、後半に交代選手が出てからは前に行く力がでてきて良かった。想像していたゴールを決められて良かったが、まだ1得点なので練習が足りないと思う。専大らしいサッカーが出来ていないので、これからもっと練習に力を入れたい。



山内寛史(早大・FW・3年)

自分たちの質が低く、流れをつかめずにチャンスを作れなかった。また、失点は自分達のミスで結果で課題が残る試合だった。今のままでは勝てないので、チームでしっかりと話し合って自分たちの中の何かを変えて次の試合に臨みたい。

流通経済大学 VS 中央大学

5月3日(日)
11:30
川口

負けなければいいという中野雄二監督の狙いどりの展開で、いまだ無敗の流経大。前節の早大戦も互いにシュート数が少ない試合となったが、今年の流経大はそこでしっかりと点が取れる。後半15分に相手のミスをついて、ボールをカットし、そこからゴールを奪って決勝点。1-0で早大を下した。まさに流経大らしい勝ち方だった。

一方の中大は前節、3-2で明大を破り明大に初黒星をつけた。この勝利は大きな自信を与えるはずだ。これまでは前半の早い時間帯に失点することが多かったが、この試合では今リーグ初めて先制点を奪った。この先制点が大きかったといえるだろう。とはいえ、大事なのは今節の試合。3節で早大に4-1で大勝したあとに、4節で駒大に敗戦。今後は占う試合と石金となりそうだ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：流経大1-0中大/流経大2-2中大

渡邊新太(流経大・MF・2年)

試合が始まる前に明大に負けたと聞いて、勝てば暫定2位になり勝ち点差がいい位置につけると知っていたので、絶対に勝ちたいと思っていた。得点も決めることができなくて嬉しかった。

次も勝つ。勝ち続けなければ意味がないので、一戦一戦大事に戦っていききたい。



池谷友喜(中大・MF・2年)

関東リーグ初出場だったので楽しくプレーできて、得点も取れたので良かった。また、走ることがストロングポイントなので、ハードワークをしっかりとすることを意識した。首位の明大を倒したので、このまま勢いに乗って連勝したい。

駒澤大学 VS 法政大学

5月3日(日)
11:30
味フイ野

なかなか波に乗り切れない駒大。拮抗したレベルの試合が多いが、勝ち切る力がまだ足りない。前節の神大とのゲームも後半32分にゴールを決めて、そのまま逃げ切りたいたいところだったが、試合終了直前に2失点してしまい、まさかの逆転負け。勝点1すら失ってしまったのは痛すぎる。終盤で踏ん張りが必要になる。勝点も積み重ねられるようになるのだが……。

スタートでつまづいた法大だが、徐々に実力を発揮。優勝候補に挙げられる順大との前節の試合は先制点こそ奪われたが、落ちてきてプレーし、後半39分、45分にゴールを決めて2-1の逆転勝利を収めた。PKから1失点したものの、この3試合で3失点と守備が安定してきたのが勝利につながっている。これを続けていくことが大切だ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：なし

吉岡雅和(駒大・MF・3年)

リードしていたのに踏ん張れなかったのは、チームの弱さ。上下運動、運動量、1対1を意識して、得点をしっかり決め切るようにしていきたい。波に乗っていいので、次こそ勝って連勝できるようにしたい。法大戦は運命の試合になるような試合になると思う。切り替えて、次の試合に臨みたい。



西室隆規(法大・MF・4年)

本意な判定でPKを相手に与え、得点されてしまい嫌なムードになった。でも、自分たちで必死になって勝ち点3を取ろうとみんなで共有して出来たことが逆転に繋がったと思う。

まだ連勝をしないので、連勝して上位にいけるように頑張りたい。

明治大学 VS 慶應義塾大学

5月3日(日)
13:50
川口

首位を走る明大だが、4節で流経大に引き分けると、前節の中大戦は2-3の敗戦。初黒星を喫してしまった。今年は守備のところがどうしても安定しない。それでも、二度、リードを奪われるが二度とも同点に追いついただけに、せめて引き分けに持ち込みたいがその粘りも見せることができなかった。ゴール前での攻防で迫力に欠ける部分があるだけにしっかりと修正したい。

前節の専大戦は1-3で敗れてしまったが、前半は消して悪くなかったし、先制点も奪った。しかし後半、相手システム、メンバーを代えてきたところで対応できず、ディフェンスラインがズルズルと下がってしまった。後半の戦い方は修正しなければならないが、前半のチャンスを生かせない決定力の部分も課題だ。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：明大0-2慶大/明大4-1慶大

土屋悠太(明大・MF・2年)

途中出場だったが、監督から「流れを作ってどんどん攻撃して」と言われていた。最初は緊張してしまっていたがプレーができなかったけれど、その中で得点できたことは良かったと思う。今季は優勝することが目標なので、毎試合勝ち点3を取るように頑張りたい。



山田融(慶大・MF・4年)

勝ちたかったのですが非常に悔しいです。後半立ち上がりは攻め込まれた時、チームとして踏ん張れなかったところが課題。先制点取った時の戦い方、取られた時の戦い方をチーム全体で共有出来たら良いと思う。